



今月の題字

にじほ
白野虹歩ちゃん
(大沢小3年)

町のわだい

血液事業に寄付の佐々木さん 厚生労働大臣から感謝状贈呈

日本赤十字社に100万円を寄付した佐々木昭平さん（飯岡・82）に対し、厚生労働大臣から感謝状が贈られました。伝達式は11月12日に役場で行われ、日赤県支部山田町分区長の沼崎喜一町長から感謝状と記念品が手渡されました。佐々木さんは、4年前に48歳で亡くなった長男の肝炎治療や自身の手術の際に輸血を受けたことから、血液事業に感謝への気持ちを表し寄付を行ったものです。佐々木さんは「今わたしが生きていられるのも血液事業のおかげ。世の中の人のために少しでも貢献できればうれしい」と話していました。



道の駅やまだで収穫祭 7,000人が秋の味覚を満喫

秋の味覚をまるごと満喫する道の駅やまだの「収穫祭」は11月22日と23日の2日間行われ、延べ7,000人の家族連れなどでにぎわいました。同施設に開かれた特設会場では、町内で収穫された新米「秋田こまち」や大根、白菜、サツマイモなどの農産物販売のほか、山田建築大工組合による包丁研磨チャリティーや農産物が当たるお楽しみ抽選会が行われました。また、試食コーナーでは大鍋で作る芋の子汁や「かき小屋」出張販売による焼きカキが格安で提供されたほか、山田産の食材で作ったおしるこが無料で振る舞われると、訪れた人たちは秋の味覚に大満足の様子でした。

産業活性化推進協議会 11項目の具体策を町に提言

山田町産業活性化推進協議会（委員長・遠藤昌雄^{まさお}県立大教授）が11月6日、町に対し提言書を提出しました。町内の農業者や漁業者、事業者など19人で構成される同協議会は、昨年8月に発足。8回にわたり会議が行われ、それぞれの現場に携わる委員が町産業の現状や課題について意見を交わし、11項目の産業振興策を盛り込んだ提言書を作成しました。この日、遠藤委員長が「産業の活性化には町民の自助努力が前提であるが、町からも適切な支援をお願いしたい」とあいさつし、沼崎喜一町長へ提言書を提出しました。これに対し沼崎町長は「これまでのご協力に感謝します。いただいた提言については、できるだけ施策に反映させていきたい」と述べました。

